

第2号

市小公連だより



筑紫野市小地区公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市小公連事務局 ■編集者 事務局長 福地 宗一
 ■発行責任者 会長 森田 陽子 生涯学習課 佐々木 泰博
 〒818-0057 福岡県筑紫野市二日市南1-9-3 生涯学習センター内 電話番号092-918-3535

地域活性化に取り組んで!



副会長 内野 優

平成25年度市小地区公民館連絡協議会の主要事業である第26回定期総会・市小公連の推進大会並びに九州地区公民館大会など、また今年度の市小公連重点目標である「情報の共有化・発信」として「市小公連だより」第2号もスムーズに発行することができました。この際、皆様のご支援ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

筑紫野市における「市小地区公民館」とは、行政区にある公民館、「自治公民館」を意味します。公民館とは、日常の最も身近な地域社会組織として、町内会・自治会などの自治組織を地域住民が協力

し自分たちの力で活力に満ちた地域づくりを目指す住民自治の共同施設であるといえます。公民館活動は、生涯学習の推進に大変重要な役割を持っていると思えますが、少子高齢化や核家族の増加など社会情勢が急激に変化している中、この難題を解決・対応して行くことは非常に難しくなっているのが現状です。

自分の地域特性にあった活動で「広く情報を発信する」「やれることからやる」また「継承・継承するためにも」「人材発掘・リーダー育成」で情報を共有化するのが重要なポイントだと思います。新役員として、常に新たな気持ちで「市小公連重点目標」を推進していきたいと思っておりますので、皆様のご理解・協力の程よろしくお願い申し上げます。

市小公連の活動報告

涯学習・社会教育関係者が一堂に会し、日頃の実践をもとに、これからの公民館の在り方や直面する諸問題の解

決に向けて研究協議を深め、今後の公民館活動の一層の充実・発展を図るために本研究大会を開催するということである。一日目の分科会は「地域教育力の向上」「家庭教育」「高齢化社会への対応」「人権教育」「自治公民館活動」「青少年教育」「ボランティア活動」の分科会に分かれており各々が関心のある分科会に参加し熱心に研修を深めた。特に第5分科会の「自治公民館活動」においては、豊かな地域づくりを担う自治公民館のあり方を討議のテーマに組織・運営の在り方について研修が進められた。

二日目の全体会はアトラクションとして精華女子高等学校吹奏楽部による若さと華やかさ

にふれた素晴らしい演奏が実施された。その後、福岡県知事、福岡市長等が出席された開会行事が行なわれ、シンガー・ソングライター

「野田ワールド」を堪能した。

ターの野田かつひこ様の記念講演が実施された。「ふるさとを想う」という演題で、作詞作曲の歌を披露しながら地域と密着した心温まる様々な活動、体験談等を話され、会場は独特のやさしいオーラで包みこまれ、まさに「野田ワールド」を堪能した。



研修会会場

第64回九州地区公民館研究大会
 第58回福岡県公民館大会
 活力と魅力あるコミュニティづくりをめざして
 自立・協働・創造の実現は公民館から

筑紫野市小地区公民館連絡協議会平成25年度推進大会

「人とまちが輝く地域社会をめざして」
公民館をまちづくりの拠点に!!

9月7日(土) 10時から筑紫野市生涯学習センターさんあいホールにおいて筑紫野市の公民館関係者が一堂に会する推進大会が開催された。公民館長・主事その他、社会教育委員・地域婦人会の皆様など242名の参加者があり関心の高さが伺えた。藤田市長をはじめ来賓の皆様のご出席を頂き、開会行事が実施された。午前中は講演があり、講師として四国を拠点に人間牧場主として活躍中の若松進一氏をお迎えし、「公民館とまちづくり」という演題で講演をしていただいた。大会終了のアンケートの結果、「今まで聞いた講演の中で一番素晴らしいかった。とても具体的な講演内容で分かりやすかった。できることから実践してしていきたいと思った。」また全体の63%の方が「大変参考になった。」と好評であった。終日、さんあいホール前のホワイエにおいて、天神公民館の七夕飾りや、東針摺公民館のポップコーン製造装置、夏祭りの映像、ボランティアバンクの実演や映像による活動紹介など18の公民館及び7つの関連事業の展示があり、盛りだくさんの内容で各公民館の活動状況や関連事業の紹介などが実施され大盛況であった。

「ややもすると活動そのものがマンネリ化している」ので、他の公民館の活動を見て刺激された。自分たちの公民館もこのようなど、参考になったという意見を多くの方から聞いた。午後後の研修発表の前に津軽三味線「聚」によるアトラクションを実施。

これも大変好評であった。午後後の研修は、3つの公民館の活動報告が実施された。二日市地区天拝坂公民館のサークル活動、山口地区平等寺公民館のヒメアヤメの保存活動・筑紫地区光が丘公民館のいきいきサロンの活動についての発表。その後、質疑応答で活発な意見の交換が見られた。最後に、亀井社会教育主事からの講評が行われた。今後は、公民館長・主事だけでなく一般の人にも参加できるようにしたいと考えている。

大会宣言

1. 心豊かな「人づくり」と住み良い活力ある「まちづくり」を構築します。
2. 家庭・学校・地域そして関係団体との連携を図ります。
3. 情報の発信・情報の共有化を推進します

推進大会写真集(展示他)



講師：若松進一氏



天拝坂公民館発表



平等寺公民館発表



光が丘公民館発表



津軽三味線「聚」の皆さん



さんあいホール前のホワイエにて各公民館から展示



天神公民館出品の七夕飾り



各地区の夏祭り情報



文化の風が吹くまち

山家は薩摩街道、長崎街道、日田街道の三つを山家宿で一つにまとめ、黒崎へ出る長崎街道の街道沿いに栄えたまちです。

山家八区公民館紹介

今もロマンを語る中跡群が数多く残っています。山家宿・長崎街道400周年事業が平成23年・24年に盛大に開催され、山家宿まつりと銘打って小学校主催で子供大行列が行われた所が、山家八区です。八区公民館は西構口より宮地岳参道に入っ

て直ぐの所にあります。公民館も老朽化し、現在公民館建設委員会で計画中ですが、新しく宿場町にあった公民館に変わろうとしています。



八区フェスタ



建設計画中の八区公民館



西構口

【公民館 サークル・教室】

公民館活動も活発に行われています。

1. 手作りカゴ いきいきサロン すみれ会
2. 桜会
3. グランドゴルフ
4. ペタンク会
5. 大正琴 さるびあ会
6. 山家区フェスタ (隔年度)

山家八区フェスタは子どもから高齢者までの住民対象で事業予算化して行われています。内容は、利用団体の発表会、焼き肉、バーベキュー、飲み物と一〇〇%に近い住民が参加し盛大に開催されます。

大正琴



人権問題啓発実行委員会(市民懇談会)機関団体の研修を兼ねて、平成25年度主事等研修会開催

10月23日(水) 19時より生涯学習センター学習室6において、開催された。雨模様

の天気にもかかわらず48名の参加者があり熱心に研修が実施された。

今回は「福岡県非行防止・ネット依存防止地域ミーティング」派遣講師である「NPO法人子どもメディア」

子どもメディア」子どもとメディア」公式インスタラクターの黒田可奈子講師を迎え「ネット社会における子どもとメディアの

良い関係づくり」というテーマで講演をしていただいた。最近では、テレビ・ゲーム・携帯・パソコンなど、

子どもたちの「メディア漬け」や「ネット依存」が進み、心身の発達に与える影響について、

危機感が広がっている。「NPO法人子どもメディア」は、市民の

共同型NPOでこれまでに子どもとメディアに関する実態調査やメディア操作技術の実践・研究、ノーテレビの取り組みなど、様々な社会的提言を行っている。激変するメディア環境のなか、子供たちが情報の洪水に流されることなく、主体的に向き合う力を育み、メディアとの「新しい関係」を創り出していくことを目指そうという趣旨の話があった。

市小地区公民館主事等研修会

「今まで十分認識していなかったネット社会。子ども達の間で普及している携帯などの利用実態・その光と影の部分を把握することができた。」「子ども達も利用する公民館の運営責任者・担当者として、今後の公民館活動に役立てていきたい。」等の感想があった。本研修を通じて、「ネット社会における子どもとメディアの良い関係づくり」についての理

解が深まり、公民館活動の更なる活性化に活かせるのではないかと思われる。



学習室(6)での研修会

編集後記

このほか、暑かったこの夏、その暑さもやつと峠を越し、各地区での夏祭りも市内の78公民館で盛大に開催され、その一部を今月号に掲載しました。「市小公連活動の見える情報共有化」を目指し、手探りで始めた広報誌づくりですが、役員の方や理事の皆様の協力のおかげで、第2号を発行することができました。市小公連の活動内容が少しでも多く皆様に伝えられるよう、今後も努力致します。

編集局より